

# HARLEM

## March 2000 03

### SPIT'EM OUT! "It's absolutely RAW"

-This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene...-

#### CONTENTS OF FEBRUARY 2000

<b>SPECIAL INTERVIEW</b> "MUMMY-D" fro. RHYMESTER page 01	<b>EVENTS SCHEDULE</b> - March 2000 page 02	<b>RECOMMENDED EVENTS</b> - Event Information <b>LOUNGE ANGELO</b> - Information <b>HARLEM SHUTOUT</b> - Information page 03	<b>EVENT REPORT</b> - '00.02.10 "Rouge" - '00.02.11 "Daddy's House" - '00.02.16 "Shibuya IZM" - '00.02.19 "Zooco Release Party" page 04	<b>ROCK THE CITY</b> - ATT rocks on !!! <b>INTERVIEW</b> - m-flo & F.O.H page 05	<b>DISCS FILE</b> - Selected by HomeBass Records <b>COLUMN</b> - 01. Zeus -02. Minamidai - 03. Utamaru -04. Momo page 06	<b>SYOGO-MIJO-NO-HIBIKI-ARI</b> - by Maki the Magic <b>COLUMN</b> - 05. Masatora <b>SHOW</b> - Presented by Canser <b>"H" PEOPLES</b> - Snap Pics in Feb. 2000 - <b>Mo' Info, Voices</b> page 07	<b>Guntez Records</b> - Complete The Guntez Records GUNCO-006 page 08
--	---	--	--	--	---	--	---

## Special Interview MUMMY-D

from RHYMESTER

MUMMY-D... 言わずと知れた"Rhymester"のラッパー&トラックメイカー。今回は彼のもう一つの顔である"DJ MUMMY-D"としての一面について、またさらにもう一つの顔である"Mr. Drunk"について、通常インタビューでは出てこない彼の本性を引き出した。HARLEMならではのスペシャル"素"インタビュー、やっぱり面白い人は面白いね!

●いつ頃からクラブでDJをやるようになったの?  
それはね、クラブでDJ始めたのはね、袋袋のCHOICEというところで、94年下北のZOOというところでラッパーとして、ライムスターとして、マイクロフォンベイジャーとか、YOU THE ROCKと一緒にやっていたんだけど、たまにそこそこ(CHOICE)の人が遊びに来て、うちで一晩やってみない?月1で。それが最初です。

●HARLEMだとラウンジで回したり、メインフロアでたまにやったり、他のクラブだと、WEBで月イチで回してますよね。その箱ごとによってDJをやる上で、イメージとか、考えとか、結構仕込んでるの?  
うん、オレ結構仕込んでるよ。曲順まで決めないよ。でもやっている所が全然違うから、どこでも自分のスタイルを通すというよりは、オレらしいな曲好きだし、そんな深くないかも知れないけど広く知っているから、かけた曲いっぱいあるのね。例えばクラブでかけられないような、HARLEMみたいなすごくメジャー感のあるところではかけられないようなものも、かけられる所でもやりたいし。

●LEM-HARからWEBまで!(笑)  
(笑)まあLEM-HARもLEM-HARに合った選曲をしようと思って毎回セット変えていくのよ。だから、大変よ。それが週によっては、WEBあって、HARLEMあって、Bstあってとか。

●Dさんの場合、もちろんライムスターで、ラッパーとしてとか、プロデューサーとしてとか、DJもやるし、いろんな顔をお持ちだけど、自分の中でそれってスムーズにバランス取れるものなの?それがプロデューサーとかトラックメーカーとしては、日々地道な作業で、人前でラップやDJをすること、すごくギャップがあると思う。同じ人前でも、DJと、ラッパーとしてステージに立つとは、また別の意味で、かなり違うと思うんだけど、その辺どう感じていますか?  
すごく違う所と、すごく同じ所がある。ライムスターの場合は、とにかく俺らが格好いいところ見せてパイパイって感じではなくて、パーティしようぜ!って感じでライブをやっているから、DJやっている時の気分と全く一緒。自分も出したけれど、一緒に盛り上がるみたいなきらみから。その自分の出し方の度合いが、ライムスターだったら、ラッパーとしての自分だったら、それ全に出していき、DJの時はオレは逆にすごく引込みたい。そういうのがあって、意外とHARLEMでDJやっている時は全然マイク持たない。

●確かにマイクは持たないですね。昔、生でやってお客さん目の前にいるTBSのクラブエッジってあったじゃないですか。あの時は1時間の間、顔一回もあげなかったもんね。  
あの時はね、なんでかっていうと、緊張してたんだよね(笑)

●(笑)ああいう普通ライブでライムスターとして出ているのを見てると、人前に出る事は慣れているのに、ああいう状況だとなんで違うのかな?  
(笑)全然違うんだって。ワーッとくじゃないじゃん、DJの作業って。一言でかい声だしちゃったら吹っ切れるとかじゃないから。あのガラス張りのあの感じはどうしても緊張しちゃった。

●クラブでパーティっていうと、HARLEMは特にDJ中心で、あるDJが回っていて、そこに遊びに来たラッパーが、盛り上げるつもりで、ちょっとマイクもって...というスタイルだったのが、最近では初めから、MCはMCでついて一緒にパーティをやるようになってきた。最近の若い子のパーティを見てると、そうところだけ見習って、スタイルは一緒だけど、DJもMCもいまいる場合、DJが普通に回してるより、逆に踊ってる客を盛り下げる事がよくある。そういうイベントを見てると、やっぱり、例えばMUMMY-D、ZEBRAとかはホントにうまいなーと思う。それはHARLEMでお祝い事があって、MCとしてお願いしますという時でも、飛び入りの時でも、確実に盛り上がるし、DJの

良さも生かしているし...。その辺、他人の人達を見て感じる事はありますか?  
それはね、MCが自分の役割がハッキリ解ってない。クラブでパーティの時はお客さんが第一だし、それを盛り上げているのはDJであって、MCはそのDJを盛り上げるものなんだよね。だから「オレが誰々~」っていうのはホントはどうでもいいこと。それが必要なのは、自分のライブであって、MCの時はとにかくDJを盛り上げる。お客を盛り上げるって、ちょっと歩引いた所で考えないダメだね。例えば、曲中の余計な所でしゃべりがずっと入ったりとか、そういう余計な事しちゃうし。オレが考えているのは、基本的にはDJだけで盛り上げられるのよ。だから、選曲で盛り上がる瞬間ってあるじゃん、グッと。それを、そのボンって盛り上がる瞬間を、さらにもうちょっとボンと押してやる感じ?だから、踏み切り盤を作ってやるみたいな感じで思ってる。そのためには、このDJは次どこでMIXするかっていうのが分かんないし、この曲のイントロ、例えばビートだけの所が長かったら、ああ、じゃあ歌が入ってくるまで、こういう感じに話を持って行って、流さなきゃいけないっていうのもあるし、そういうのは曲知ってないと出来ないから。

●そういう立場でMCをしていてDJも聞かないと思うんだけどね。ただオレは自分でDJもやるから、この曲がさらに盛り上がるには、ここでナニナニという方が、ちょっと歌詞に絡めてとか、イントロ何小節とか頭に入っているからさ。

●クラブDJとして好きな人とか、国内外問わず意識している人は今どんな人ですか?  
外国でクラブってほとんど行ったことがないから、外国の人は分からないけど、今基本的にオレがマイク持ちに行ったりするDJや、一緒にDJやったり、遊びに行っている所のDJはみんな好きだよ、基本的に。すごいリスペクトしてるし。なんだかっていうと、自分がDJもやっているけど、やっぱりオレはラッパーであるし、トラックメーカーであるし、ライムスターのMUMMY-Dというのが一番メインにあるところだから、DJをやっているのは、自分がHIP HOPやる中で、楽しい事のうちの一つ...だからすごいDJがいっぱいいるっていうことをすごくリスペクトして、ちょっと身を引いた所でDJやってるって気分だから、基本的には東京のHIP HOPシーン、クラブシーンを盛り上げているDJっていうのはリスペクトしている。

●DJとして歩引いた形でクラブでDJしたり、遊びに行ったりして、クラブ行く機会は、それが仕事だったり、顔出そうかなとか、純粋に行きたいとか、いろいろ理由があっても、やっぱり行く回数は多いじゃないですか。そういう時に、もっとこうなったらおもしろいかなって、それは音でも機材でも照明でも内装でもいいんだけど、もし自分がクラブでパーティしたり、1日演出面まで、アイデア出してよって言われたらどんな感じになりますか?  
うん、基本的に、いい音があっというものがまず第一だけど、最大限の力まで使ってなくて、いい音を余裕で流して感じる?もっと出せるけどこのくらいで充分みたいに出している感じが多分一番気持ちいいと思うんだよね。そういう箱でやりたいと思うし。あとは、例えば選曲の面で言うとか、それはなんでオレがDJやってるかにも関わってくるんだけど、やっぱりメインでDJが本業の人達ってさ、やっぱり新しいものかけていかなくちゃいけないし、その時一番盛り上がる最大公約数をつかんでいかなくちゃいけないと思うから、オレがすごくお客さんの立場で遊びに行くとか、あまたこれかよ、みたいな選曲だったりがあったりする訳よ。そういう半分お客さんの立場で聞いている時の気持ちを大事にして、ちょっと他の人はかけないけど、こんなのもみんな結構意外と好きなんじゃないの?みたいな感じでやっていきたい。オレ結構隙間産業みたいな感じで考えているのね、自分がDJやる時は。

●だから本職だったら多分オレも出来ないと思うんだけど、だって毎週やっている訳じゃん、マジで偉いと思うよ。



抱きかかるとするのがまず仕事じゃ。毎週パーティしなきゃいけないのって大変なんだよ。オレはたまにHARLEMだったら月1とか、そのくらいの回数だし。まあオレだから出来る選曲をしようかな、多少オンタイムじゃなかったりいろいろあるけど、ちょっと隠し玉多めの、隙間をついていく感じで。そうすると意外と、例えばBARにしかいない人達も盛り上げていけるかなって。そういうところで、今のDJのやってる所を聞いていくのよ、みたいな所は意識している。

●Dさんもう一つ名前があるじゃないですか、Mr.Drunkという。結構MUMMY-Dイコールお酒とか、最近TOP DRUNKERSもあるし...お酒好きですか?  
お酒はキライです。ビールが好きです。

●TOP DRUNKERSって自分でつけたの?  
うん、自分でつけた。それはね、自戒の意味を込めて。自戒と自重の意味を込めて。

●飲み過ぎた自分に対して?  
うん、すいません...

●Dさんは仕事じゃないのに、HARLEMの中2階にいると、いろんな人が「Dさんですよ」って男も女の子も話かけて、真面目な話をする人もいれば、単にきやーDさん握手って人もいて。酔ってるとすごい面白い人っていうイメージがHARLEMのスタッフでもあるみたいだけど、ケツだしたり、腕立てやったり、チューしたりいろいろ...チューは主に男と...

●HASEBEとべらんかだって話も...  
HASEBEとは相当キスしてる。HASEBEが一番多いと思うよ。

●お酒飲んで、これやらして失敗したって言える事ってありますか?よく聞かれるんですよ。Dさんってすごい飲めるんですかって。  
いやそれはね、違うんですよ。僕はTOP DRUNKERSの一員なんですけど、TOP DRUNKERSというのは、TOP DRINKERSじゃないんですよ。すごく飲める人達じゃなくて、すごく飲まれる人達、だから弱いんです。もう飲んだ時のだらしなさとかは、マジ自信あるよ。(笑)エピソードは死ぬほどあるから。

●最近だと沖縄のスラムジャムというクラブがありまして、そこで泡盛が飲み放題だったんですよ。で、泡盛を飲み過ぎて、店の物を壊したりとか、暴れたりとかして...

●以前もある店の物を酔って壊して、かたじけないから「かたじけナイト」ってやったんだとか。(笑)  
それは「竜宮」というお店がありまして、その自動シャッターを壊して壊して、その後1年位、お詫び営業でノーギャラでDJをやりました。

●タイトルが「かたじけナイト」ってうまいこと考えるなあって、いつか聞こうと思ってたら、単にかたじけないって気持ちでやってたんだ。(笑)  
フライヤー自分で作ってました。(笑)

●今やってないけど、3FのLOUNGE ANGELOでかけてるのは、ほとんどその時の選曲。  
ラウンジDJみたいなものも凄く好きで、あれはあれで

凄く楽しくて。

●2000年のMUMMY-Dについて、ライムスターも含めて今年はどうな感じでやりたいですか?  
今年ね、オレもう30になるから、今のうちに実績作っておかないとなってしまうのがあるって、今のうちにアルバムバンバン出そうって。

●またアルバム出るらしいですね!  
それは噂はあくまで噂だから、オレもよくわかんないんだけど...

●岡田文史(A&R):年内にアルバムが...  
ちょっとこの前待たせ過ぎたから、勢いで作ったみたいなものをポンと出したいな。とりあえず来月くらいから、曲録り始めるけど、まずライムスターが第一っていうのがあって、それが終わったらとりあえずHIP HOPシーンで若手がちょっと成長してるとか、オーバークラウドになかなか出れない状況があるから、そういうのをなるべくピックアップしていきたいなって思って。それは例えばコンプレッションを作るのか、オレが主催してイベントをやるとか、それはわかんないけど、人のことも頑張ってみようかな、ってちょっと思ってた。

●MUMMY-Dプレゼンツのパーティが始まる。と。  
アルバムが終わったらだよね、でも終わらないと思うんだ。結構まだ人の事どころじゃないってのもあるから。でもさ、DJやってると、DJの気持ちも凄く良くなるし、クラブでどんなものも盛り上がるのが、ダイレクトに感じられる訳じゃん。

●それこそ細かい話したら、例えばDJがかけやすいイントロはどんな感じとか、つなぎやすいイントロとか、そういうことまでわかってくると、オレらももっとさらにオーバークラウドに出していくために、いろんな出方があると思うけど、例えば、広告打って、タイアップとってパーンと出てくとか。だけど、いわゆるシーンを大事にするんだって、クラブヒットっていうのはオレらにとっても重要な所で、やっぱりB-BOYイズムがいるんならクラブでかかっているの聞いて、まあクラブでかかっていると、ちょっとケツの座りが悪くなるんだけど、「いきなよ、いきなよ」とか言われて(笑)。でもいろんな所がかかっているのは凄く嬉しかったし。だからクラブヒットをもう一回だしたいな。そういうことによって自分が、頑張ってる世界で、あんまり取り上げられていないのにパーンと出てくみたいな、一番HIP HOPらしい出て行き方だと思うからさ。

●今日は担当の岡田さんもらしゃっているんで、岡田さんから一言。  
これからはMUMMY-Dをよろしく(笑) KOHEI JAPAN もよろしく。ライムスターアルバム年内リリース決定!

**Remix Album "RESPECT 改" RHYMESTER**  
 NLCD-035 ¥2,600 w/o tax  
**Now On Sale**  
 参加プロデューサー:  
 DJ BEAT, ROCK-Tee, キエるマキユウ,  
 FUMAKILLA, PES from RIP SLYME,  
 DJ WATARAI, FORCE OF NATURE,  
 ショコ(オチノチ), INVADER,  
 DJ YAS, DJ CELOY